

昭和館特別企画展

ポスターのちから

～変化する役割と広がるデザイン～



「心も武装せよ」
昭和17年(1942) 内閣情報局
デザイン: 岸信男
(通期展示)



「赤十字愛の献血運動」
昭和38年(1963) 日本赤十字社
デザイン: 高橋春人
(通期展示)

2021年

7月17日(土) ▶ 9月5日(日)

前期: 7月17日(土)～8月15日(日)

後期: 8月17日(火)～9月5日(日)

※前期と後期で、一部展示資料の入れ替えを行います。

会場 昭和館 3階特別企画展会場

開館時間 10時～13時30分(入館は13時まで)
14時～17時30分(入館は17時まで)

休館日 月曜日(8月9日は開館、8月10日は休館)

後援 千代田区、千代田区教育委員会



URL <https://www.showakan.go.jp>

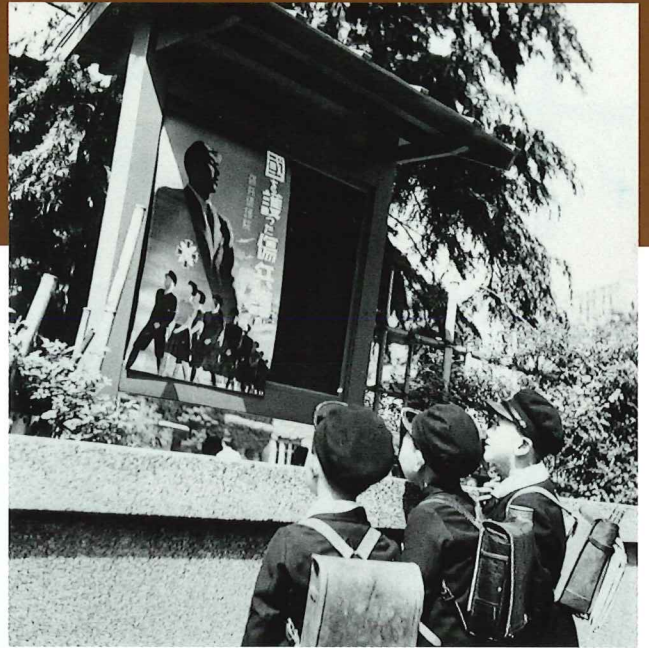
<https://twitter.com/showakankudan>
<https://www.facebook.com/showakankudan/>
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575



入場無料

ポスターのちから

～変化する役割と広がるデザイン～



ポスターを見る国民学校生徒
昭和16年(1941)
日本写真家協会(JPS)提供

ごあいさつ

広告・告知・宣伝を目的として制作されたポスターが昭和館には約3,500点所蔵されています。その制作意図はさまざま、商業広告、国策宣伝、公共広告などあらゆる場面でポスターが登場し、国民生活に浸透していたことが垣間見られます。

本企画展では、昭和館ポスターコレクションの中から、デザインの変遷に着目して作品を厳選し、昭和期におけるポスター制作と作り手であるデザイナーたちの活躍を紹介します。

目次

I. 「図案家」の確立とポスター

- (1) 美人画ポスターから「図案」へ
- (2) ポスターの多様性

II. 戦争と国策ポスター

- (1) 国策宣伝の進化
- (2) 戦時体制の強化と国策ポスター

III. 戦後復興期のポスター

- (1) 戦後復興と公共広告
- (2) 商業ポスターの復活

● エピローグ

オリンピック東京大会と東京パラリンピック



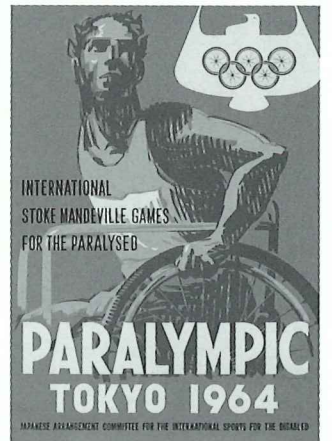
「ステープルファイバー優良製品展覧会」
昭和14年(1939)
日本ステープルファイバー織物工業組合連合会
日本綿織物工業組合連合会
日本ステープルファイバー協会
デザイン: 柴田可寿馬
(通期展示)



「ヒマを作らう」
昭和19年(1944)頃 大政翼賛会
制作: 報道技術研究会
(後期展示)



「キッコーマンソース」
昭和20年代後半 野田醤油株式会社
デザイン: 大橋正
(通期展示)



「PARALYMPIC TOKYO 1964」
昭和37年(1962)
デザイン: 高橋春人
(通期展示)



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1

7・6階には常設展示室(高校生以上有料)があります。
電車で利用の場合
地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線 出口4)
JR飯田橋駅から徒歩約10分
車をご利用の場合
首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)
有料駐車場(30分200円・普通乗用車のみ)

